

次期長岡市総合計画骨子案

地方創生推進部 政策企画課

計画構成案

章	節	記載要素	骨子版おける記載	
はじめに	市長挨拶、目次等	-	なし	-
第1章 序論	第1節 総合計画について	総合計画の位置づけ、策定趣旨、計画の期間等	記載	p.2
	第2節 総合計画の構成について	総合計画の構成		
第2章 基本構想	第1節 まちのプロフィール	長岡市の地理、文化・歴史等の概略	要素のみ 記載	p.4
	第2節 長岡市をとりまく状況	社会における情勢、潮流 長岡市の人口、経済等の状況等		
	第3節 まちの将来像	まちの将来像及びその設定趣旨説明等	記載	p.5
	第4節 基本目標	まちの将来像を実現するための基本目標に関する説明	記載	p.6～7
	第5節 政策を推進する5つの視点	政策推進にあたり共通する視点について説明	記載	p.8
	第6節 人口の将来展望	人口の将来展望とその趣旨説明等	記載	p.9
	第7節 土地利用構想	土地利用構想について説明	記載	p.10
第3章 基本計画	第1節 政策体系	基本目標と政策の体系を説明	記載	p.11
	第2節 政策	政策分野ごとに施策内容等について記載	記載	p.12～20

第1章 序論

1. 総合計画について

総合計画の位置づけ

- 総合計画は、長期的・総合的な展望に立った市政運営の指針であり、行政運営の包括的な最上位計画として位置づけられる。

策定の趣旨

- 平成27年度に策定した現総合計画は令和7年度（2025年度）で計画期間の10年を終える。また、地方創生に向けた戦略である「第2期長岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略／人口ビジョン～長岡リジュネーション（長岡若返り戦略）」は令和6年度（2024年度）で計画期間を終える。
- そうした中、本市は人口減少や少子高齢化に加え、気候変動に伴う自然災害の激甚化、デジタル社会の一層の進展といった社会情勢に直面している。
- こうした社会情勢に対応していくとともに、本市の魅力や特徴を存分に発揮し、住みやすいまちであり続けられるよう、市民とともに歩む新たなまちづくりの指針として本総合計画を策定する。
- 本総合計画は、長岡市が目指すまちの将来像や、その将来像を実現するための基本目標等からなる「基本構想」と、基本構想に基づき実施する政策・施策や数値目標を示す「基本計画」の二階建てとすることで、計画の実効性を高める。

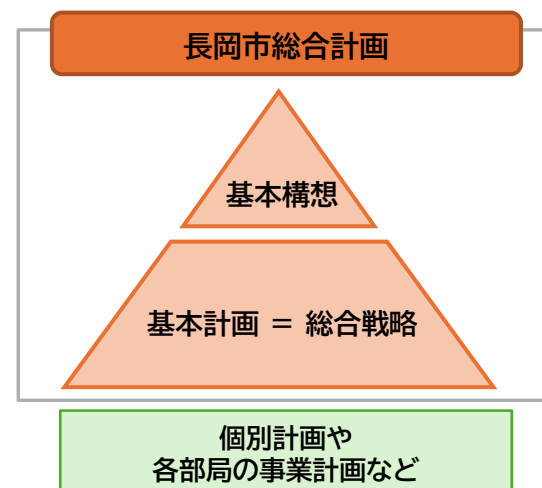
計画の期間

- 基本構想の対象期間は、2026年度から2035年度までの10年間とする。
- 社会環境の変化や新たな課題に対応するため、基本計画は5年ごとに見直しを行う。

期間	H28	R2	R6	R7	R8	R13	R18
総合計画	長岡市総合計画				次期長岡市総合計画（基本構想）		
総合戦略	総合戦略①		総合戦略②		一年延長	基本計画総合戦略③	基本計画総合戦略④

総合戦略との一体的策定

- 現総合計画では、人口減少に歯止めをかけるため、未来を担う次の世代への投資に取り組んできた。また、現総合戦略においても総合計画と整合を図りながら、人口減少対策と地方創生の実現に向け取り組んできたが、出生数の減少や若年層の転出により、人口減少に歯止めをかけるには至っていない。
- 本市の最重要課題である人口減少への対応と地方創生が総合計画と総合戦略の一致した目的であることから、現総合戦略の計画期間を1年延長し、総合計画と総合戦略の計画期間を合わせ、一体的に策定することで、より効果的・効率的に人口減少対策と地方創生に取り組む。
- なお、本総合計画における「基本計画」は、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案し、策定していることから、地方版総合戦略としての要件を備えた計画となっている。



第1章 序論

2. 総合計画の構成について

- ・ 本総合計画は基本構想、基本計画から構成される。
- ・ 基本構想は、目指すべきまちの将来像やそれを達成するための目標、政策・施策の推進にあたり意識する視点を示す。
- ・ 基本計画は、基本構想に基づいた各政策における施策やKPIについて示す。
- ・ なお、より具体的な対応計画等については、個別計画や各部局における事業計画において示す。

基本構想	将来像 キャッチフレーズ	(仮) 変わるれ！長岡 ～ 住みたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～				
	基本目標	将来像を実現するための6つの基本目標				
	政策を推進する5つの視点	誰にも優しく寄り添う共生社会のまち	子ども・若者が夢や希望をもって育つまち	災害や雪に強く安全安心に暮らせるまち	産業が成長し活力を創出するまち	にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち 市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち
		1 市民一人ひとりの幸せを強く意識する 2 市民と行政が協働して取り組む	3 女性活躍を推進し多様性を尊重する 4 先進的なアイデアを取り入れ、新たな成果を生み出す	5 デジタル技術の活用で市民生活を快適にする		

視点を意識しながら政策・施策を推進

政策の取組により基本目標を推進

基本計画	政策	基本目標を推進するための政策					
		・市民協働によるまちづくりの推進 ・多様性を認め合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりの推進 ・市民が支え合う地域福祉の実現 ・高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域の実現 ・障害の有無にかかわらず、誰もがいきいきと暮らせる社会の実現 ・生涯にわたる健康な暮らしの実現 ・誰もが安心して受けられる医療体制の確保	・あらゆる年代における学び・体験・交流の充実による人材育成 ・ふるさとに誇りをもち、共に認め支え合う社会の実現に向けた教育の推進 ・一人ひとりを大切にした多様な育ちと学びの切れ目ない支援 ・やる気や学ぶ意欲を高め、夢を描き志を立てて生き抜く子どもの育成 ・みんなで支え、喜びや希望、関心をもてる子育て環境の創出 ・安全安心でだれもとに残されない質の高い教育環境の提供	・防災対策の推進と消防・救急体制の充実 ・良好な除雪体制の維持、消雪施設などの適正な維持管理 ・生活の安全安心の確保 ・環境にやさしい循環型社会、脱炭素社会への移行 ・自然との共生社会の実現 ・豊かな暮らしを守る持続可能なコンパクトシティの推進 ・持続可能なインフラの整備・保全	・強みを生かし未来を見据えたオール長岡による産業振興 ・誰もがキャリアを活かし、いきいきと働く産業集積の創造 ・次世代につなぐ活力ある農林水産業の実現 ・人材の還流による新たな価値の創造 ・地域の稼ぐ力を高める観光産業の振興	・非核平和都市宣言都市・長岡の推進 ・関係人口の拡大・創出 ・魅力ある観光の振興 ・歴史・文化や伝統の継 ・豊かな暮らしのための文化・スポーツの推進 ・移住定住の促進 ・中山間地域振興と持続可能な地域づくりに向けた未来創造	・時代の変化に適応した持続可能な行政運営と市民サービスの高質化 ・市政運営の基盤となる健全財政の確保
	施策	政策に紐づく施策の柱					
	KPI	総合指標及び施策の柱ごとの指標（KPI）					

第2章 基本構想

1. まちのプロフィール

位置・地勢

- ・新潟県の中央部に位置
- ・市中央を信濃川が縦断し、日本海から守門岳に至る変化に富んだ地勢
- ・上越新幹線と関越・北陸自動車道が整備

気候・自然環境

- ・夏は高温多湿、冬は気温が低く降雪がある日本海側特有の傾向
- ・降雪量に地域差があり、山間部は県内でも有数の豪雪地帯

歴史・文化

- ・世界に誇る縄文文化の象徴「火焰土器」発祥の地
- ・城下町、港町、農村などの豊かな歴史と文化に育まれた「地域の宝」が平成の市町村合併によって融合
- ・上杉謙信、直江兼続、良寛、河井継之助をはじめとする個性あふれる人物ゆかりの地
- ・北越戊辰戦争、長岡空襲、中越大震災といった幾多の困難から不撓不屈の精神で復興
- ・「米百俵の精神」で、未来へ向けた人づくり、まちづくりに取り組む

2. 長岡市をとりまく状況

社会情勢

人口減少・少子高齢化の進行

継続する物価上昇、成長型経済へ分岐点

人工知能（AI）等の
デジタルテクノロジーの発展

気候変動・自然災害への対応

ウェルビーイングや多様性の重視

本市の現状

■人口

- ・総人口は、1995年の293,250人をピークに年々減少しており、2020年には266,936人に。（国勢調査）
- ・次期総合計画最終年度の2035年には233,826人（2020年の約88%）、2050年には197,104人（2020年の約74%）にまで減少する見込み。
- ・2001年以降、自然減及び社会減による人口減少が継続しており、2024年は2,944人/年の減少。

■経済

- ・市町村内総生産（GDP）について、2020年にコロナ禍の影響で減少となったが2021年には持ち直しが見られ、1兆1120億円に。構成比率としては第3次産業が全体の7割。（新潟県市町村民経済計算）
- ・就業者数は2015年から2020年にかけて5.5%の減少となっている。2020年における産業別就業者数は製造業、卸売・小売業、医療・福祉の順に多い。（国勢調査）
- ・製造品出荷額は2018年以降減少しており、2020年には6千82億円。（総務省経済センサス・活動調査）
- ・観光入込客数は2020年にはコロナ禍の影響で412万人まで減少した。しかし2021年以降回復傾向にあり、2022年には611万人に。（新潟県観光入込客統計）

■市民生活

- ・市民アンケート調査（R6.12実施、各10点～0点の11段階で調査）では、生活満足度は平均6.04点、幸福度は6.74点、5年後の幸福度は6.32点。
- ・新潟県全体での平均は、生活満足度6.15点、幸福度6.45点、5年後の幸福度6.36点であり、これと比較すると、長岡市は生活満足度はやや低いものの、現在の幸福度はやや高く、5年後の幸福度は同程度。
- ・「特に力を入れてほしい取組」は、「福祉・健康・医療体制の充実（63.9%）」、「除雪体制の維持・確保（53.1%）」、「公共交通の維持・確保（42.7%）」、「子育て支援の充実（35.8%）」が上位に。

第2章 基本構想

3. まちの将来像

キャッチフレーズ

(仮) 変わるれ！長岡

住み続けたい 戻ってきたい 選ばれるまち ～イノベーション先進都市～

日本は今、加速する人口減少や少子高齢化、不透明感を増す経済情勢など先の読めない大変困難な時代を迎えています。AI時代の到来、社会・経済構造の歴史的な大転換期にあり、本市を取り巻く環境も大きく変化しています。

こうした激動の中でこそ、先人たちから受け継がれてきた「米百俵」の精神と「協働」によるまちづくりという長岡の原点に立ち返り、市民、企業、行政等が一丸となって地域課題に立ち向かっていかなければなりません。時代の潮流や世界の動きを的確に捉え、良いものは残しつつ、変えるべきところはダイナミックに変えていく必要があります。

長岡は、明治以降、人づくりと産業振興において、固定観念にとらわれず新しいことに挑戦し、未来への投資に取り組んできました。イノベーションに挑戦することで発展してきたまちであり、この精神こそが長岡の原点であり、長岡の強みです。

キャッチフレーズ「変わるれ！長岡」は、従来のやり方や現状に甘んじない、変革＝イノベーションの決意を長岡の方言で表しています。

長岡が持続的に発展するためには、さらなるイノベーションに挑戦し、産業の振興を通じて都市の魅力や拠点性を高めるとともに、行政サービスの変革を通じて市民生活の質の向上を図っていくことが重要です。

イノベーションの先進都市として、市民一人ひとりが人らしく幸せを実感し、住み続けたいと思えるまちとなるとともに、その存在感を高めることで人を惹きつけ、離れても戻ってきたいと思えるまちとなり、全国・世界の人々や企業から選ばれるまちとなることを目指します。

第2章 基本構想

4. 基本目標

将来像を実現するため、6つの基本目標を設定しました。各基本目標の説明を以下に示します。

誰にも優しく寄り添う共生社会のまち

変わる イノベーション宣言

誰もが実感！人権や多様性を認め合い、自分らしく暮らせるまち
もっと元気なまちへ！市民の「やりたい」をサポート強化！
「高齢になっても、安心して生活できる」という声、倍増！希望あふれる健康福祉都市へ

- ・ 困難に直面している人びとに寄り添い、誰もがいきいきと暮らせる社会を実現します。人と人が出会い、思いや課題を共有し、その実現や解決のための舞台である「アオーレ長岡」を拠点に、「笑顔いきいき・協働のまち長岡」の実現を目指し、市民協働のまちづくりを推進します。
- ・ さまざまな背景や立場に関わらず、多様な価値観を認め合いながら、お互いを尊重し協力しあう社会を実現していきます。

子ども・若者が夢や希望をもって育つまち

変わる イノベーション宣言

誰もが学びに熱中できる 日本一質の高い教育のまち
育つよろこび 育てる幸せ 日本一子育てしやすいまち
学ぶ楽しさ、チャレンジする意欲があふれるまち

- ・ 「米百俵」の精神を受け継ぎ、ふるさと長岡に愛着と誇りを持つ人材を育てることは、産業を振興し、地域社会が豊かになり、人々が幸せを創り出していける共生社会の実現に繋がります。子どもの確かな学びを実現するための質の高い教育・保育環境の充実を図るとともに、「米百俵プレイスミライエ長岡」を拠点とした時代の変化に対応した新しい学びやチャレンジを応援し、多様な育ちと学びを切れ目なく支援します。
- ・ 一人ひとりのこどもや保護者の多様化するニーズにきめ細かく対応し、安心して子育てができる環境を創ります。地域全体で子育てを応援し、未来を担う子ども・若者が、夢に向かって努力・挑戦できる社会の実現を目指します。

災害や雪に強く安全安心に暮らせるまち

変わる イノベーション宣言

自主防災組織活動率アップ！市民が互いに助け合う災害に強いまち
公共交通を確保！高齢者になっても車がなくても安心して暮らせるまち
DX技術を活用し、より効率的で安全なインフラを提供できるまち

- ・ 平時においても緊張感を持つことを説いた「常在戦場」の精神や、中越大震災からの復興の経験や教訓を伝承し、不測の事態に備え、不断の努力を怠らず、自助・共助・公助の取組みを強化していきます。
- ・ 自動運転などの技術革新や公助・互助・共助など、様々な方法を組み合わせ、地域の移動手段を確保します。
- ・ 安全安心で持続可能なまちづくりのために、DX技術を活用するなど、効率的なインフラの整備・保全に取り組みます。

第2章 基本構想

4. 基本目標

将来像を実現するため、6つの基本目標を設定しました。各基本目標の説明を以下に示します。

産業が成長し活力を創出するまち

変わる イノベーション宣言

サプライチェーンの構造的変化をチャンスに！次世代産業を育成し、世界水準のものづくり拠点を創造
魅力的な企業の創出で住み続け、帰ってきたい長岡へ
スマート技術が創る未来、次世代につなぐ新しい農業の実現
全国に！海外に！認知度アップで訪日客を倍増！観光消費額も倍増へ！

- ・ 人口減少・労働力不足に直面した今こそ次世代産業への取り組みを活性化させるとともに、IT技術を活用した人材の育成と、テレワークなどの新たな働き方の導入により、誰もが生き生きと働くことのできる環境づくりを進めていきます。
- ・ 明治期に新たな時代の殖産興業をめざした「ランブ会」は、官や民の垣根を越えて互いに知恵を出し合いました。市民の創造力を結集して、経済を持続・発展させるイノベーションを推進していきます。

にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち

変わる イノベーション宣言

来訪者9割が満足！花火だけじゃない通年でにぎわう観光都市へ
移住者倍増！多様な人との関わりでもっと豊かなまち長岡へ
誰もがいくつになっても輝き続けられる！文化・スポーツのまち
平和の尊さを市民とともに発信！空襲体験者の意思をいつまでも受け継ぎ、伝えるまち

- ・ 火焰土器、国漢学校、長岡花火といった文化財や教育・観光資源、地場産品、暮らしの知恵は、先人の英知と努力によって創造されました。これら地域の魅力を市民の誇りとして未来に継承するとともに、今を生きる長岡人の魅力と合わせて広く発信していきます。
- ・ 県内唯一の大規模戦災都市である本市は、世界の恒久平和を願い「非核平和都市」を宣言しました。悲惨な戦争の記憶を風化させることなく平和の尊さを後世に語り継ぎ、長岡から世界へ平和の灯を広げていきます。

市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち

変わる イノベーション宣言

市民の8割が行政サービスや政策を評価！市民の期待に応える市役所へ
デジタル社会に対応！新しい「スマート市役所」の実現へ

- ・ 人口減少社会においても、デジタル技術の積極的な活用や民間事業者との連携などにより、市民ニーズを的確に捉えた質の高い行政サービスを提供するとともに、その基盤となる健全な財政を堅持し、持続可能な行政運営を行います。
- ・ 先進技術を活用して業務の自動化・効率化・オンライン化を進め、いつでもどこからでも行政サービスを利用できる、市民に身近で利便性の高い市役所を目指します。

第2章 基本構想

5. 政策を推進する5つの視点

目指す将来像の実現に向けて、以下の5つの視点を各分野共通の視点として持ちながら、効果的に政策・施策を推進します。

視点1 市民一人ひとりの幸せを強く意識する

市民が多様な価値観を認め合いながら、幸せを実感できるまちづくりを推進します。市民それぞれの価値観が認められ、一人ひとりの「しあわせ」が達成されること（自己実現できること）で、人生や心を豊かにしていくまちづくりを推進します。

視点2 市民と行政が協働して取り組む

市民と行政又は市民同士が、お互いの長所を持ち寄り補い合うことで課題を解決する市民協働のまちづくりを推進するとともに、自らの取り組みで、地域や身近にいる人同士が助け合い、協力し合うことで暮らしやすいまちを実現します。

視点3 女性活躍を推進し多様性を尊重する

あらゆる分野で女性が自ら望む活躍ができるよう推進するとともに、年齢や性別、国籍等にかかわらず、互いを尊重し合う地域共生社会の実現を目指します。

視点4 先進的なアイデアを取り入れ、新たな成果を生み出す

本市の強みや特色を生かすとともに、外部人材等も活用しながら、先進的なアイデアを取り入れることで、新たな成果を生み出します。

視点5 デジタル技術の活用で市民生活を快適にする

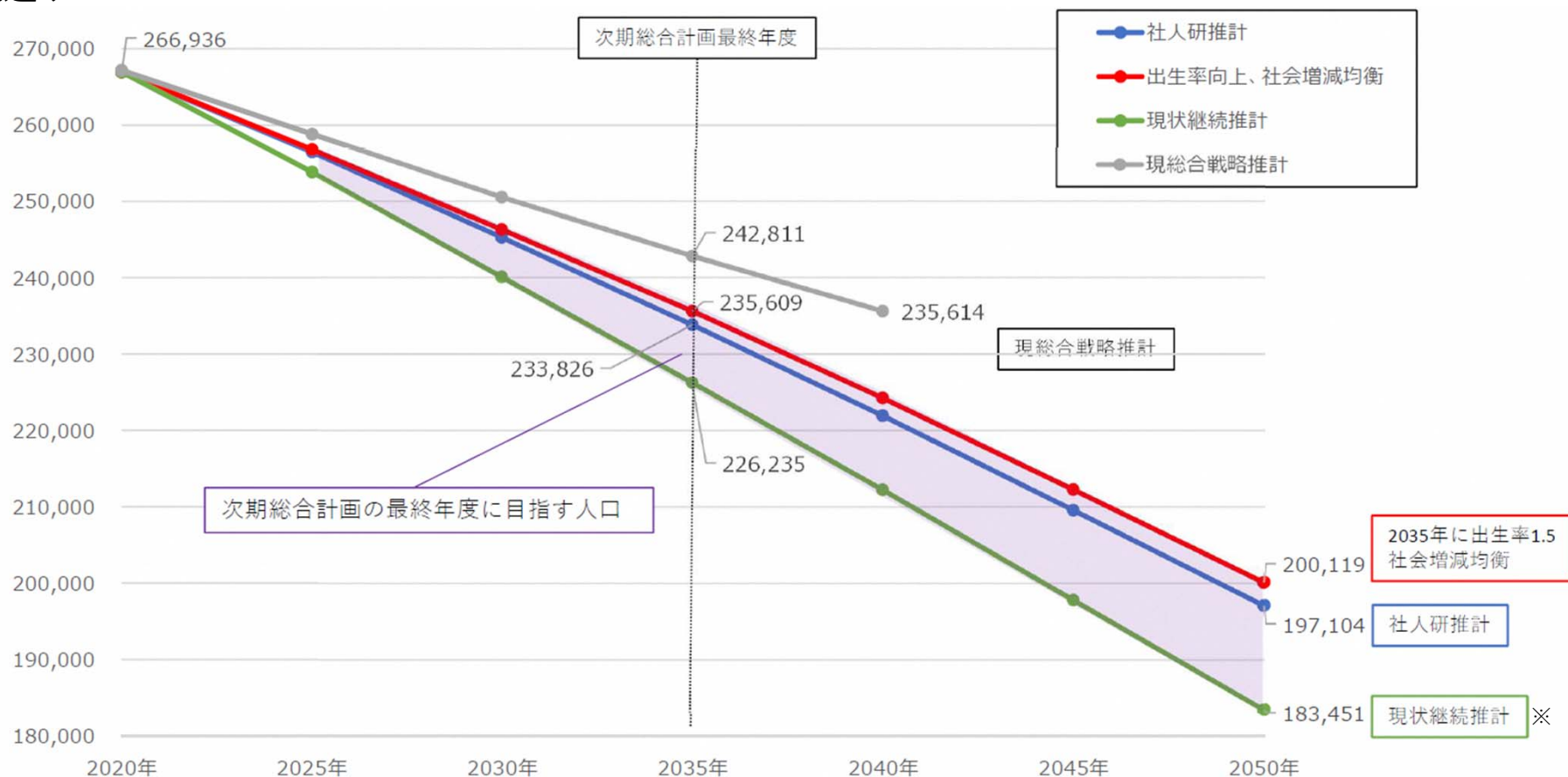
人口減少が進む中でも、デジタル技術の積極的な活用により、市民の暮らしを快適にし、生活の向上を図るほか、生産性の向上や行政事務の効率化を図り、持続可能で暮らしやすい社会を実現します。

第2章 基本構想

6. 人口の将来展望

人口減少を緩やかにすることで、現状継続推計を上向きに押し上げることを目指す。

- 国立社会保障・人口問題研究所（以下、「社人研」という）が令和5年4月に公表した「日本の将来人口推計」では、計画最終年度の2035年に233,826人、2050年に197,104人となる見通し
- 現在の人口減少の傾向が今後も続くと、2035年には社人研推計を約7,600人下回る見込み
- 2035年に合計特殊出生率上昇（1.37→1.5）、社会増減均衡（▲566→0）を達成した場合、社人研推計を約1,800人上回る見込み



【出典】
日本の地域別将来推計人口(令和5(2023)年推計) (国立社会保障・人口問題研究所)

※現状継続推計は、現在の人口減少が引き続き続いた場合の推計値

第2章 基本構想

7. 土地利用構想

土地利用構想は、まちの将来像の実現に向けて、本市の区域における土地の利用及び管理の基本的な方針を示すものです。

本総合計画と同時期（令和7年度末）に策定を予定している国土利用計画（長岡市計画）の「市土の利用・管理に関する基本構想」を本計画における土地利用構想として位置付けます。

土地利用・管理の基本方針

地形、生活環境、歴史・文化など多様な特性を活かした土地利用と、地域特性や地元意向等を踏まえた土地を継承するための管理の取組を推進していくため、5つの基本方針を定め、総合的かつ計画的な土地利用・管理を図ります。

（1）地勢上のつながりを踏まえた土地利用・管理

- ・ 守門岳から日本海に至る多様な地形において、豊かな市民生活や活発な産業活動が展開されるよう、地勢上のつながりを尊重し、地勢ごとの自然環境が有する多様な機能を活用することにより、自然災害の発生リスクの低減と景観の維持・保全を図る土地利用・管理を進めます。

（2）コンパクトで、広域的な拠点性を高める土地利用・管理

- ・ 都市拠点に都市機能や居住を維持・誘導する「コンパクトなまちづくり」に取り組んでいることから、供給過多の状況下における住宅地の供給や大規模商業施設の立地を図る市街地の拡大は行わず、既成市街地内の低未利用土地や空き家を有効に活用します。
- ・ J R 長岡駅周辺の中心市街地から千秋が原・古正寺地区までの都心地区と地域の中心部等を、相互に円滑で便利な幹線道路及び公共交通で結ぶ「交通ネットワーク」を構築し、地域の持続性確保につながる土地利用を進めます。
- ・ 交通の便が良く、多くの市民にとって集まりやすい都心地区に広域かつ高次な都市機能を集積させるとともに、高速交通体系が整った優位性を活かし、市民の豊かな暮らしと中越圏域全体の中心都市としての拠点性を高める効率的な土地利用・管理を図ります。

（3）各地域の多様性を活かし、長岡の総合的な魅力を発揮する土地利用・管理

- ・ 地域固有のさまざまな資源を保全・活用しながら、地域の活性化を促進する土地利用・管理に取り組みます。
- ・ 多様な個性・魅力を有する地域間で、ひと・モノ・情報の双方向の活発な交流を促進するとともに、生活に必要な都市機能の相互利用や農地集積の促進を図るための土地利用転換を進めます。
- ・ 地域の活力を維持し、新しい考え方・技術を取り入れた新たな価値の創出を図ることにより、本市の総合的な魅力を体感できる土地利用・管理の効率化と高度化を進めます。

（4）豊かさや安全・安心を支える土地利用・管理

- ・ 既存産業の事業展開の支援や新たな起業・産業の誘致を推進するほか、産業集積を図る土地利用転換など、地域の持続性の確保につながる土地利用を進めます。
- ・ 美しい里山風景や山並み風景などを維持する景観まちづくりを推進し、愛着と誇りをもてる「ふるさと長岡」をつくります。
- ・ ハード対策とソフト対策を適切に組み合わせた防災・減災対策を進め市土の強靱化を図り、平時から事前防災・事前復興の観点から地域づくりを進め、安全・安心に暮らせる土地利用・管理を図ります。
- ・ 再生可能エネルギー関連施設の設置や大規模な盛土を含む土地の造成行為等に際しては、周辺の土地利用状況や自然環境、景観、公害未然防止、防災に配慮した、地域との共生が図られる土地利用・管理を進めます。

（5）みんなで考え実践する土地利用・管理

- ・ 人口減少・少子高齢化の進行により、管理が行き届かない土地が増加するなどの課題に対しては、行政、市民、事業者、地域・市民団体などのあらゆる関係者が協働・連携し、持続可能かつ適切な土地利用・管理を推進します。

第3章 基本計画

1. 政策体系

基本目標を推進するため、目標ごとに政策を以下のとおり設定しました。

誰にも優しく寄り添う共生社会のまち

- ・ 市民協働によるまちづくりの推進
- ・ 多様性を認め合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりの推進
- ・ 市民が支え合う地域福祉の実現
- ・ 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域の実現
- ・ 障害の有無にかかわらず、誰もがいきいきと暮らせる社会の実現
- ・ 生涯にわたる健康な暮らしの実現
- ・ 誰もが安心して受けられる医療体制の確保

子ども・若者が夢や希望をもって育つまち

- ・ あらゆる年代における学び・体験・交流の充実による人材育成
- ・ ふるさとに誇りをもち、共に認め支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ・ 一人ひとりを大切にした多様な育ちと学びの切れ目ない支援
- ・ やる気や学ぶ意欲を高め、夢を描き志を立てて生き抜く子どもの育成
- ・ みんなで支え、喜びや希望、関心をもてる子育て環境の創出
- ・ 安全安心でだれもとに残されない質の高い教育環境の提供

災害や雪に強く安全安心に暮らせるまち

- ・ 防災対策の推進と消防・救急体制の充実
- ・ 良好な除雪体制の維持、消雪施設などの適正な維持管理
- ・ 生活の安全安心の確保
- ・ 環境にやさしい循環型社会、脱炭素社会への移行
- ・ 自然との共生社会の実現
- ・ 豊かな暮らしを守る持続可能なコンパクトシティの推進
- ・ 持続可能なインフラの整備・保全

産業が成長し活力を創出するまち

- ・ 強みを生かし未来を見据えたオール長岡による産業振興
- ・ 誰もがキャリアを活かすいきいきと働く産業集積の創造
- ・ 次世代につなぐ活力ある農林水産業の実現
- ・ 人材の還流による新たな価値の創造
- ・ 地域の稼ぐ力を高める観光産業の振興

にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち

- ・ 非核平和都市宣言都市・長岡の推進
- ・ 関係人口の拡大・創出
- ・ 魅力ある観光の振興
- ・ 歴史・文化や伝統の継承
- ・ 豊かな暮らしのための文化・スポーツの推進
- ・ 移住定住の促進
- ・ 中山間地域振興と持続可能な地域づくりに向けた未来創造

市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち

- ・ 時代の変化に適応した持続可能な行政運営と市民サービスの高質化
- ・ 市政運営の基盤となる健全財政の確保

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【誰にも優しく寄り添う共生社会のまち】

市民協働によるまちづくりの推進

政策の目指す姿

市民との協働を推進することで、市民力・地域力を活かした、誰もが住み続けられるまちを目指します。

そのために、市民協働の拠点であるアオーレ長岡を核として、市民活動団体への支援や団体同士の交流の促進などを図り、地域のにぎわいの創出や地域課題の解決などに取り組みます。

また、町内会やコミュニティ推進組織などの活動を支援し、市民主体のまちづくりを進めていきます。

施策の柱

- ・ 地域コミュニティ活動の推進
- ・ 「協働のまち長岡」の推進

市民が支え合う地域福祉の実現

政策の目指す姿

地域住民が互いに支え合う福祉を実現するため、包括的な支援体制の構築、相談窓口の連携強化、地域活動の活性化を図ります。

生活困窮者の社会孤立を防ぎ、自立を支援するため、関係機関と連携し、生活相談体制を強化するとともに、適切な情報提供と支援を行います。

施策の柱

- ・ 地域福祉を支える相談体制づくり
- ・ 市民が地域で支え合う福祉のまちづくり
- ・ 市民みんなが福祉の心を育むまちづくり
- ・ 困窮者への自立支援

多様性を認め合い、自分らしく暮らすことができるまちづくりの推進

政策の目指す姿

すべての人権が尊重され、多様な価値観を認め合い、誰もが自分らしく暮らすことができる地域社会の実現を目指し、一人ひとりの人権意識を高める取り組みを進めます。

多様性を認め合い、日本人と外国人がともに安心して暮らせる多文化共生社会の実現を目指し、外国人に対する日本語講座の実施をはじめ、相互交流や異文化への理解を深める取り組みを進めます。

性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現を目指し、社会環境の整備や、女性が自ら望む生き方や活躍の方法を選択し、その実現を支援する取り組みを進めます。

施策の柱

- ・ 男女平等の実現に向けた社会環境の整備や女性活躍に向けた支援
- ・ 国際交流・多文化共生の推進
- ・ 人権教育・啓発の推進

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる地域の実現

政策の目指す姿

高齢者ができる限り住み慣れた自宅や地域で、自分らしい暮らしを続けられるよう、高齢者や介護者を地域全体で支え合い、安心して暮らせる地域の実現を目指します。

高齢者を取り巻く課題が複雑化・複合化していることから、切れ目ない支援が提供できるよう、地域包括ケアシステムを深化・推進します。

施策の柱

- ・ 介護予防への主体的な取り組みの支援
- ・ 多職種連携の推進と支援体制の充実
- ・ 認知症の人とその家族を支える認知症施策の推進
- ・ 介護人材の確保に向けた支援と介護サービスの質の向上

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【誰にも優しく寄り添う共生社会のまち】

障害の有無にかかわらず、誰もがいきいきと暮らせる社会の実現

政策の目指す姿

一人一人に寄り添った支援により、誰もが健やかで元気に、安心して暮らせる地域共生社会の実現を目指します。

障害のある人の生活や就労等に関して支援するほか、ひきこもり状態の方への伴走支援に取り組み、誰もが自分らしい生き方ができるよう支援します。

施策の柱

- ・ 障害のある人への相談支援体制、地域生活支援の充実
- ・ 障害のある人の雇用・就労施策の推進
- ・ ひきこもり対策の強化

誰もが安心して受けられる医療体制の確保

政策の目指す姿

市民が必要な時に、必要な医療をいつでも受けることができる長岡市を目指します。

オンライン診療の普及により中山間地域の受診機会を確保し、地域の身近な医療体制を確保するほか、休日急患診療所の運営、高度な救急医療を行う基幹3病院への支援を通じて救急医療体制維持を確保してまいります。

施策の柱

- ・ 身近な医療体制の確保
- ・ 救急医療提供体制の確保
- ・ 医療従事者の確保に向けた支援

生涯にわたる健康な暮らしの実現

政策の目指す姿

生涯にわたって住み慣れた地域で健やかに心豊かに生活できるよう、健康寿命の延伸と健康格差の縮小のために、市民一人一人の健康づくりを推進します。また、悩みを抱える人に必要な支援がきちんと届くことを目指し、生きることの包括的な支援を推進します。

施策の柱

- ・ 健康寿命の延伸に向けた健康づくりの推進
- ・ 健（検）診・保健指導・相談等による生活習慣病予防の推進
- ・ 企業や地域との連携やDXを活用した運動習慣定着の推進
- ・ 誰も自殺に追い込まれない、生きるための包括的な支援の推進

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【子ども・若者が夢や希望をもって育つまち】

あらゆる年代における学び・体験・交流の充実による人材育成

政策の目指す姿

国漢学校の跡地に建ち、米百俵の精神が息づく「米百俵プレイス ミライエ長岡」を主な拠点に、多彩な学びや交流により、将来の可能性を広げるとともに、「学びの循環」による人づくりを進め、生涯にわたる学びを支援します。

施策の柱

- ・ 未来に向けた人づくりの推進
- ・ ミライエ長岡を拠点にした若者の交流の促進

一人ひとりを大切にした多様な育ちと学びの切れ目ない支援

政策の目指す姿

長岡の宝である子どもの一人ひとりの可能性を引き出し伸ばすため、個性・特性を大切にした教育を進めるとともに、園、学校を中心とした保幼小中の連携と協働により切れ目のない教育体制を構築します。

また、多様なニーズに対応した切れ目のない適切な支援を行うため、発達等配慮が必要な子どもに早期に気付き、関係機関が連携して支援ができる体制整備を進めます。

施策の柱

- ・ 保幼小中の接続期への支援の充実
- ・ キャリア教育の充実
- ・ 発達等配慮が必要な子どもと保護者への支援体制の充実

ふるさとに誇りをもち、共に認め支え合う社会の実現に向けた教育の推進

政策の目指す姿

ふるさと長岡への愛着と誇りを育み、自らの言葉で語れる子どもを育てるため、郷土の魅力を学ぶ教育を推進します。また、共に認め支え合う社会の実現を目指し、不登校や特別支援などの課題に対応しながら、多様な学びの機会を保障し、互いの個性を認め合い協働できる豊かな人間性を育成します。

施策の柱

- ・ 郷土の歴史、自然、文化、産業等の学習と「米百俵」の精神などの継承・活用
- ・ 不登校など子どもたちを取り巻く様々な課題への対応と多様な学びの場の保障
- ・ 国籍などの多様性を認め合う教育や特別な支援を要する子どもへの支援の充実

やる気や学ぶ意欲を高め、夢を描き志を立てて生き抜く子どもの育成

政策の目指す姿

子ども一人ひとりの確かな学びを実現するため、魅力ある学校・園づくりを充実させるとともに、熱中・感動する実体験を大切に、子どもが新たな自分を発見・創造できる場を提供します。また、子どもの個性や可能性を伸ばすため、興味や関心に応じた学校内外の学びの場を提供します。

施策の柱

- ・ オール長岡で連携・協働し、確かな学びを実現するための学校への支援
- ・ 新たな自分を発見・創造する多様な熱中・感動体験の提供
- ・ 子どもが自主的に参加し、自分の能力を伸ばす学びの場の提供

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【子ども・若者が夢や希望をもって育つまち】

みんなで支え、喜びや希望、関心をもてる子育て環境の創出

政策の目指す姿

一人ひとりの子どもや保護者のニーズに寄り添い、きめ細かに支援するとともに、未来を担う子どもたちが、家庭の状況にかかわらず安心して学び、夢と希望をもって成長できるよう支援します。また、地域のみんなで子育てを支援する体制を構築します。

施策の柱

- ・ 妊娠期から就学後まで切れ目のない子育て支援と相談支援体制の強化
- ・ 家庭の状況にかかわらず子どもたちが安心して学べる環境づくり
- ・ 地域社会全体で子育てを支援する体制づくり

安全安心でだれもとに残されない質の高い教育環境の提供

政策の目指す姿

子どもたちに安全安心で質の高い教育環境を提供することを目指します。
そのため、保育・教育施設に求められる機能・性能の維持や、I C T 活用による教育活動の高度化、教員や保育士が教育・保育に集中できる環境整備、学校・家庭・地域が連携した安全管理に取り組みます。

施策の柱

- ・ 施設の計画的な改修による保育・教育施設に求められる機能・性能の維持
- ・ ICTを活用した教育活動の高度化や校務D X の推進
- ・ 教員や保育士がやりがいを持ち、教育・保育に集中できる環境整備
- ・ 学校、家庭、地域が連携した安全管理

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【災害や雪に強く安全安心に暮らせるまち】

防災対策の推進と消防・救急体制の充実

政策の目指す姿

自然災害時の情報収集・発信を強化し、自主防災会の支援や防災リーダーの育成により地域防災力を向上するとともに、国、県、関係機関と連携した原子力安全・防災対策を継続し、防災まちづくりを推進します。

火災予防の普及啓発を強化し、市民との協働により火災予防を推進します。

適正な救急車利用の啓発に取り組むとともに、新技術を活用した救急医療体制の強化に取り組みます。

施策の柱

- ・ 地域防災力の強化
- ・ 火災予防の促進と被害の軽減
- ・ 救急体制の維持

環境にやさしい循環型社会、脱炭素社会への移行

政策の目指す姿

市民、事業者、行政が協働して、徹底した省エネ対策の推進、再生可能エネルギーの日常的な利用、ごみの減量と適正処理によりエネルギーなどの資源として循環させることで、環境にやさしい循環型社会、脱炭素社会への移行を実現します。

施策の柱

- ・ 温室効果ガス削減に向けた行動の実践
- ・ 再生可能エネルギーの日常的な利用促進
- ・ ごみの減量とリサイクルの推進

良好な除雪体制の維持、消雪施設などの適正な維持管理

政策の目指す姿

冬期間の市民の安全・安心な暮らしを守るため、良好な除雪体制を維持するとともに、消雪施設などの適切な維持管理と更新を行い、持続可能な除雪体制の構築と官民一体となった維持管理体制を確保し、雪に強いまちづくりを進めます。

施策の柱

- ・ 機械除雪体制の維持と路線の最適化
- ・ 消雪施設の適正な維持管理と長寿命化

自然との共生社会の実現

政策の目指す姿

森林や農地、里山をはじめ自然環境の保全に関する施策を進めるとともに、外来生物が生態系に与える影響や、自然共生サイト・トキ保護を例に自然環境の保全の重要性を市民に周知します。

人の生活圏における鳥獣被害対策については、捕獲や被害防除などに取り組む鳥獣被害対策実施隊の活動に対する支援のほか、各種研修・啓発事業などの実施により、担い手の確保や新たな人材育成を図ります。

施策の柱

- ・ 鳥獣被害の防止に向けた地域の担い手確保
- ・ 自然や生態系の回復の促進（ネイチャーポジティブ）

生活の安全安心の確保

政策の目指す姿

交通の安全を確保するため、警察や交通安全協会などと連携した交通安全対策の充実を図り、交通安全思想の普及啓発活動を進めます。また、高齢者の交通事故防止に向けた参加・実践型の交通安全教育に取り組めます。

市民が安全安心で豊かな消費生活を営むことができるよう、関係機関との連携を強化し、消費者被害の未然防止及び被害回復に取り組めます。

施策の柱

- ・ 交通安全意識の普及
- ・ 消費者被害の未然防止、被害回復

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【災害や雪に強く安全安心に暮らせるまち】

豊かな暮らしを守る持続可能なコンパクトシティの推進

政策の目指す姿

中越圏域の中心都市として、都心地区の高度な都市機能集積や公共交通の結節点機能を活かした都市間連携を図り、働く場の創出、充実した子育て環境、若者の活躍の場などを確保し、住み続けたいまちづくりを目指します。

都心地区と各地域を幹線道路・公共交通などのネットワークでつなぎ、個性豊かな各地域の強みを活かしながら、地域住民の自主的かつ主体的な取組を尊重した、暮らしやすく持続可能な地域の形成を目指します。

施策の柱

- ・ 拠点性の維持と持続可能なコンパクトシティの推進
- ・ 都市の中心性を高める魅力あるまちづくり
- ・ 誰もが安全・安心・快適に暮らせる地域づくりの推進
- ・ 安心して住み続けられる良好な住環境の創出

持続可能なインフラの整備・保全

政策の目指す姿

市民生活や社会・経済活動の根幹である道路・橋りようをはじめとするインフラの整備や計画的な維持保全や適正管理により、都市基盤を強固なものにするとともに、安定した給水など、災害にも強い生活インフラの機能確保に取り組み、安全安心な暮らしや経済活動を支え、持続可能なまちづくりを進めます。

施策の柱

- ・ 道路ネットワーク整備とインフラの保全適正化
- ・ 災害にも強い、持続可能な上下水道事業の運営
- ・ 市民を水害から守る雨水対策

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【産業が成長し活力を創出するまち】

強みを生かし未来を見据えたオール長岡による産業振興

政策の目指す姿

高い技術力を誇る製造業や4大学1高専といった立地を生かし、地域企業の次世代を見据えたDX化・デジタル化等による生産性の向上や事業承継への取り組みとともに、GXやバイオ分野等、稼ぐ力を強化する成長産業分野や新産業への挑戦を、ミライエ長岡の産業支援機関の集積を中心に、オール長岡の総力を上げて支援します。

施策の柱

- ・ 産学連携による技術高度化と次世代人材育成
- ・ 官民連携による企業のDX推進
- ・ バイオマス資源を活用した新産業の創出
- ・ 地域企業や地場産業の持続的発展

誰もがキャリアを活かすいきいきと働く産業集積の創造

政策の目指す姿

女性や若者の定着やUIターンを促進するため、ライフステージに合わせた就業に取り組む企業を支援するとともに、学生の専門分野やキャリアを活かす新産業分野の企業を積極的に誘致し、テレワークによる就業や学生の起業・創業、高度外国人材の登用等と合わせて、多様な雇用を生み出す産業集積を創造します。

施策の柱

- ・ 多様な人材が活躍できる職場環境整備への支援
- ・ 企業誘致の推進
- ・ 若者や女性など多様な感性を活かした起業・創業支援
- ・ 高度外国人材等のインターンシップ支援

次世代につなぐ活力ある農林水産業の実現

政策の目指す姿

農業を支える多様な人材と意欲ある経営体の確保・育成、未来を拓く新しい農業への転換を推進し、次世代につなぐ元気な農林水産業を目指します。また、中山間地域等においては、農業生産や集落機能を維持する体制づくりを進めるとともに、地域の特性や資源を活かした特色ある農業を推進します。

国土の保全や地球温暖化の防止などの多面的機能を持続的に発揮させるため、森林を適切に整備、保全していきます。

施策の柱

- ・ 多様な担い手と新規就農者の確保・育成
- ・ 生産性向上による持続可能な新しい農業の実現と生産基盤の強化
- ・ 農畜水産物の付加価値向上と新たな市場の開拓
- ・ 森林整備の推進と森林資源の利用促進

人材の還流による新たな価値の創造

政策の目指す姿

地域の成長に貢献するアクティブな外部人材（首都圏等のクリエイティブ人材等）の呼び込み、地域の産業に新たな視点と活力を生み出します。

産学連携、社会課題案件、企業の新規事業へのフィールド提供など、新たな取り組み・プロジェクトとの連携・共創によって、地域企業・地域産業を支える人材の獲得と育成を行います。

施策の柱

- ・ 首都圏企業や外部人材との協創による地域課題解決

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【産業が成長し活力を創出するまち】

地域の稼ぐ力を高める観光産業の振興

政策の目指す姿

長岡の魅力を活かし、広く産業の連携を図って、「越後長岡」のブランド化による観光振興を進め、観光サービスの高付加価値化と観光DXの推進などの取組みにより、生産性・収益性の向上を図ります。観光データの分析に基づいた事業者支援や、多様な主体の連携により、点ではなく面で地域の「稼ぐ力」を育成し、市内の観光産業の競争力強化と地域経済の活性化を促進します。

施策の柱

- ・ 多様な連携による「越後長岡」のブランド力の強化と稼ぐ力の育成
- ・ 観光産業の高付加価値化による地域経済の活性化

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち】

非核平和都市宣言都市・長岡の推進

政策の目指す姿

あらゆる世代とともに戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に語り継ぎ、広く世界に向けて発信する人づくりを目指します。そのために、市内の小中学校が平和学習に取り組みやすい環境やツールを整備するほか、長岡戦災資料館が恒久平和の拠点として人々が交流できる場となるような事業を実施します。

施策の柱

- 戦争の悲惨さと平和の尊さの次世代への継承・発信

魅力ある観光の振興

政策の目指す姿

地域の暮らしに根差した観光資源を活かしながら、旅行者のニーズに合わせた情報発信と来訪時の満足度の向上を図り、リピーター化を推進します。市民もまちの魅力を再確認し、観光消費額と地域調達率を高めることで、活力を生み出し、観光を軸とした持続可能なまちづくりを推進します。

施策の柱

- 豊富な資源を活かした観光誘客の促進
- 持続可能な観光まちづくりの推進

関係人口の拡大・創出

政策の目指す姿

地域に暮らす市民だけでなく、市外から継続的に関わる「関係人口」を増やすことで、町のにぎわいを創出し、経済の活性化を目指します。

長岡の歴史、文化、特産品など長岡が持つ多様な魅力を国内外に発信するだけでなく、長岡花火への来訪やふるさと納税などの接点からの関係深化を進めます。

施策の柱

- ふるさと納税を活用した長岡ファンづくりの推進
- 多様な関係人口をターゲットとした情報発信や継続的な接点づくり

歴史・文化や伝統の継承

政策の目指す姿

豊かな自然に育まれた、今につながる郷土のあゆみは、個性あふれる地域資源や歴史上の人物たちを生み出してきました。地域に根差した文化財等を適切に保存・活用し、歴史・文化及び培ってきた伝統を後世に継承することで、市民の郷土への愛着や誇りの醸成を促し、魅力的なまちを目指します。

施策の柱

- 歴史・文化に対する愛着と誇りの醸成
- 地域内（市内）交流の活性化と地域資源の次世代への継承

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【にぎわいや交流が生まれる魅力あるまち】

豊かな暮らしのための文化・スポーツの推進

政策の目指す姿

芸術文化は人々の創造性をはぐくみ、心豊かで活力のある社会づくりに寄与するものであり、スポーツは健康で豊かな生活を営む上で、心身の健全な発達や健康の維持増進などをもたらします。市民一人ひとりが生涯にわたり、興味や関心に応じて主体的に創造性や豊かな生活をはぐくめるよう、芸術文化及びスポーツレクリエーション活動を推進します

施策の柱

- ・ 文化芸術活動の推進
- ・ 多様なスポーツ・レクリエーション活動の推進

中山間地域振興と持続可能な地域づくりに向けた未来創造

政策の目指す姿

食料の供給、水資源の安定的な確保、土砂災害の防止等といった中山間地域が果たす役割を維持し、棚田など美しい景観や地域特有の伝統・文化など、多様な地域資源の魅力の向上を目指します。

そのために、魅力の発信と、地域外から多くの方が訪れ、多様な資源に触れる機会を提供し、交流を推進します。

施策の柱

- ・ 自然や文化など、多様な地域資源の磨き上げと情報発信
- ・ 地域資源を活かした交流の推進

移住定住の促進

政策の目指す姿

多様な人との関わりによって人間的な成長や豊かさをもっと感じられるチャンスが溢れるまちを目指します。その土台を支えるため、官民が一丸となった移住希望者への対応力向上や、様々なライフスタイルの実現に向けた支援を通じて、移住者などの増加を図ります。

施策の柱

- ・ 移住相談・案内体制の強化と移住体験コンテンツの充実
- ・ 二地域・多拠点居住の促進に向けた体制整備

第3章 基本計画

2. 基本目標ごとの政策【市民の期待に応え、信頼される行政を推進するまち】

時代の変化に適応した持続可能な行政運営と市民サービスの高質化

政策の目指す姿

人口減少社会においても時代の変化に柔軟かつ迅速に対応できる、効率的でスマートな行政運営を実現し、多様な市民ニーズに応える質の高い行政サービスの提供を目指します。

そのため、デジタル社会を前提とした市民サービスや働き方・仕事の進め方への変革を進めるとともに、市民に分かりやすい市政情報の発信により、多様な意見や価値観が反映される市政運営に取り組みます。

施策の柱

- 徹底した業務改革とDXによる行政運営の生産性の向上
- スマート行政の推進と公民連携による市民サービスの向上
- 行政運営を支える人材育成と魅力ある職場づくり
- 多様な視点を活かした政策立案と行政運営の透明性の向上

市政運営の基盤となる健全財政の確保

政策の目指す姿

社会経済情勢の変化に的確に対応し、必要な市民サービスを提供するとともに、総合計画に掲げる政策を着実に実施していくため、限りある経営資源の最適な配分と活用により、将来にわたり健全財政を確保します。

なお、具体的な取組と財政見通しは、「第2期持続可能な行財政運営プラン」の中で毎年度公表します。

施策の柱

- 将来を見据えた経営的な視点による財政運営
- 人口減少などに対応した公共建築物の適正管理